

令和2年度第2回学校評議員会記録

- 1 日時 令和3年2月17日(水) 10:30~12:00
- 2 場所 本校南講義室
- 3 出席者 学校評議員
高瀬 哲敏 小宮山 晴夫 高村 光輝 小田島 清美 以上4名
本校教職員
片岡 順一(校長) 佐々木 信明(副校長) 八重樫 寛昭(事務長)
坂牛 祐司(教務主任) 三浦 穰(生徒指導主事) 田代 徹(進路指導主事)
菊池 保貴(総務主任) 川村 興司(総務担当) 以上8名

4 内容

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 本年度の取組状況等説明

① 秩序有る生活態度の育成と安全教育の徹底および感染症予防対策

(学校評議員)

- ・SNS関連のいじめは何件くらいあるか。
→ 2件。自分のアカウントを他者に教えられた。写真を勝手にSNS上にアップされた。

(学校評議員)

- ・薬物乱用防止講座は、乱用の実態があるから実施するのか。
→ そうではない。啓発的な意味合いが強い。

(学校評議員)

- ・自転車事故の原因はどのようなものか。
→ スピードの出し過ぎ、右側走行など。自転車同士の事故が多かった。

(学校評議員)

- ・スクールソーシャルワーカーの活用はあるか。
→ 今のところは活用が必要と思われる事例は発生していない。

② 主体的学習態度の育成と学力向上の推進および安定した授業の実施

(学校評議員)

- ・1年生の家庭学習が昨年度より減っている理由は何かあるか。
→ 特に明確な原因は見当たらない。学習時間は少なめでも学力は高い。効率の良い学習をしている可能性もある。

(学校評議員)

- ・1年生で1週間に15時間以上の学習時間は十分だと感じる。

③ 学習指導内容の精選と指導法の工夫・改善および新しい時代に対応した指導法の研究開発

(学校評議員)

- ・電子黒板の使用状況はどうなっているか。使用する授業と使用しない授業で差が出るのが心配される。
→ ほとんどの教員が使用する教科もあれば、そうでない教科もある。全体として使用する教員の割合は増加している。今後、使用頻度を更に高めていく必要がある。

④ 自己実現を見据えた進路指導の充実

(学校評議員)

- ・大学等のオープンキャンパスが軒並み中止となったことによる、情報不足等の問題はなかったか。
→ 大学側でホームページを充実させたり、オープンキャンパスに代わる方法を工夫してくれたので、大きな影響はなかった。
- ・先日の地震の受験生への影響についてメディアで報道されていたが、本校では影響があったか。
→ 受験後帰宅できない生徒が数名いた。今後の受験日程で、日帰りから1泊2日へ変更した生徒がいる。受験に関して配慮する大学もある。

⑤ 部活動の振興と生徒会活動等の活性化

⑥ 家庭・地域との連携と地域に開かれ信頼される学校作りの推進

(学校評議員)

- ・家庭への配付物は、メールでの通知、ホームページへの掲載だけで保護者は見てくれるか。
→ 文書を配付した上でホームページにも掲載するものと、ホームページ上に掲載するのみのものを、内容の重要度によって区別している。

(学校評議員)

- ・PTA会員の総会への出席率や行事への参加率を高めることは、学校の努力だけでは難しいと感じる。どこの学校も同じ状況ではないかと思う。
→ 県の高P連事務局長会議でも、「出席率等の数値目標を設定すること自体に意味がないのではないか」、という意見や、「無理のない運営も必要だ」という意見がある。

⑦「チーム盛北」としての組織対応とコンプライアンス意識の醸成

(学校評議員)

- ・「ライトダウンの日」に関連する働き方改革について、教員の健康を大切にしてほしい。
→ 国や県から様々な数値が示されてもいるので、管理職が適切なマネジメントを行うと共に、教員の意識も変えていくように努力する必要がある。

⑧ その他

(学校評議員)

- ・コロナの影響による、生徒の体力の低下はあるか。
→ 特にないと考えているが、例年より部活動等での怪我が多かった。

(学校評議員)

- ・キャリア教育はどのように行っているか。
→ 「総合的な探究」や「総合的な学習」の時間を活用し、個人での調べ学習を主体に行っている。

(学校評議員)

- ・コロナ関連での行事等の中止による生徒のストレスを発散する場はあるか。
→ 代わりの行事を実施することが困難であった。

(4) 学校評価アンケート報告

(学校評議員)

- ・学校への満足度に関する項目で、2年生の「あまり思わない」という回答が多いが、例年のことか。
→ 学年毎に比較してはいないが、特に例年の傾向ということではない。

(学校評議員)

- ・2年生になって学校生活に慣れてきて、評価が厳しくなる面もあるのではないか。

(5) 意見聴取

- ・中学校を卒業後に訪ねてくる生徒の声を聞くと、安定した生活を送り、頑張っている様子が伝わってくる。
- ・学校評価アンケートについて、項目を工夫し、他校とも比較してみると様々な面がさらに見えてくるのではないか。
- ・自転車走行について、歩道での走行やスピードなど注意してほしい。
- ・悪い噂も聞かないし、地域の学校としてよくやっていると思う。
- ・コロナ禍にあっても、できることを工夫してやっていることに感謝する。生徒が想像以上に頑張っている印象を受けた。
- ・本校でコロナ感染者が出た場合を想定し、対応について考えておく必要がある。
- ・新しい生活様式で、上級生と下級生の連携が難しいかもしれない。
- ・学校が一生懸命に取り組んでいることが、学校評価の満足度に表れていると感じる。
- ・生徒が内に秘めているものを外に出せるように工夫してほしい。多くの人に触れさせて、感化させることが大切だと思う。
- ・生徒が安心して相談できるような関係づくりの強化をお願いしたい。
- ・魅力ある学校をさらに目指してほしい。

(6) その他

特になし

(7) 閉会